

町長

老人の憩いの場である温泉、健康センターとしては是非継続していただきたいという要望があり、六月議会までの間に私の諮問機関の審議会において、今後の検討を行うため、議会議員を含め十名程度でご審議、ご意見をいただくといいこととで今臨んでいます。

委託料についても、十分審議会の委員の意見を聞いて対応しなければならぬと思っております。

産業建設課長

一月に指定管理者の公募を行ったところ応募者はゼロという結果でございます。四月一日以降につきまして、そのまま何カ月間か運営していく業者が無ければ、再開するにあたって、機械等のメンテナンス、更に再開するための機械のオーバーホール等が必要になり、かなりの費用を要するものと考えています。

いったん閉鎖した場合の後の費用を計算いたしますと、一ヶ月百万円というこ

とで、三ヶ月間、三百万円という算出の方法を取らせていただきました。

副町長

私の諮問機関が非常に短期間になりますけれども、集中審議をしていただいて、どういう形で温泉について継続していくのが良いのか、また、継続しないでやるというのを含めて、集中的に審議していただく三ヶ月間だということに理解しております。

**海部老人ホームの現在の運営状況について**

榎谷議員

海部郡三町で運営されている、海部老人ホームについて、今回予算が一千百九十六万八千円の計上がされていますが、各町の負担金はどうなのか、建物の老朽化が進んでおり、また、現在のニーズの観点からいっても今後の取り組みが不可欠だと思います。



J Aかいふ前の水よう市

南海・東南海においての耐震検査の結果や補強工事

などはどうなのか、民間委託なども検討されたのか、その結果はどうなのか、現在の運営状況と今後の取り組みについて、お聞きします。

町長

現在の海部老人ホームは、昭和五十六年に改築以来二十九年が経過しています。老朽化の進行にぐわえまして個室化が進められている他の老人ホームと比べますと、殆どが二人部屋です。近年中の改築が必要となることから経営上のメリット、

効率性等を勘案した総合的な施設整備が必要となっております。

先日も海部郡の組合議会

がありまして、厳しい財政状況の中、公設ではなく、民営化することによって、専門職の確保、徹底した運営管理が可能となり、柔軟性のあるサービスの提供ができるのではないかと考えています。施設の改築についても民間資金を活用する

という方向があるかと考えています。

副町長

鉄筋コンクリート平屋建てで、耐震検査をした訳ではないのですが、ちょうど昭和五十六年と言うと、建築基準法の改正をした年なので、それに対応した設計になっていないということの問題はないという考え方で

**住民の知恵と力を 結集し、本町の振興を**

藤元 雅文 議員

本町の現実を肌で感じておられ、実態打開の努力をいただいていると思えます。しかしそれは、到底行政だけで出来ることではありません。

お年寄りが多いということとは、人生経験が豊富で知恵と力を持った方がたくさんおいでということですから、現実を少しでも改善するため、本町に潜在している町

民のみなさんの知恵と力を結集し、行政との協働の力で現状を打開する仕組みをつくる必要があるのではないのでしょうか。

本町の振興は、これを一つやれば解決するということ効薬がある訳ではありません。いろいろなことの積み上げで結果が出るものです。その一つとして住宅リフォーム助成制度創設について